

2022（令和4）年10月7日

副反応疑い報告の状況について （参考資料）

ファイザー社ワクチン接種後における心筋炎と評価された報告の状況について

専門家により心筋炎と評価された事例の概要

ファイザー社ワクチン接種後に心筋炎と評価された事例のうち追加接種後の事例は、製造販売業者からの報告について、性・年齢別の分布は以下のとおりであった。

3回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	2	6	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0
男性100万回接種当たり	4.1	5.6	0	0	1.2	0	0.8	0	0	0.7	0	0	0	0.5	0.4	
女性 例	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	2.0	0	0	0	0	0	0.5	0.5	0	0.4	0	0.2	

4回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.5	0	0	

小児用（5-11歳）ワクチン接種後における心筋炎と評価された報告の状況について

専門家により心筋炎と評価された事例の概要

小児用（5-11歳）ワクチン接種後に心筋炎と評価された事例は、製造販売業者からの報告について以下のとおりであった。

1回目接種後

年齢	5-11	不明/その他
男性 例	1	0
男性100万回接種当たり	1.2	
女性 例	0	0
女性100万回接種当たり	0	

2回目接種後

年齢	5-11	不明/その他
男性 例	0	0
男性100万回接種当たり	0	
女性 例	0	0
女性100万回接種当たり	0	

上記の100万回接種当たりの報告頻度については、小児用（5-11歳）ワクチン接種後の心筋炎と評価された事例の数を、VRSに小児用ワクチンを接種したとして入力されたもののうち、5-14歳の合計値より算出した推定接種回数で割ることで算出している。

武田/モデルナ社ワクチン接種後における心筋炎と評価された報告の状況について

専門家により心筋炎と評価された事例の概要

武田/モデルナ社ワクチン接種後に心筋炎と評価された事例のうち追加接種後の事例は、製造販売業者からの報告について、性・年齢別の分布は以下のとおりであった。

3回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	2	6	3	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	10.7	8.2	3.7	0	2.0	0.8	0	0	0.6	0.6	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

武田社ワクチン（ノババックス）接種後における心筋炎と評価された報告の状況について

専門家により心筋炎と評価された事例の概要

武田社ワクチン（ノババックス）接種後に心筋炎と評価された事例のうち追加接種後の事例は、製造販売業者からの報告について、性・年齢別の分布は以下のとおりであった。

1回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ファイザー社ワクチン接種後における心膜炎と評価された報告の状況について

専門家により心膜炎と評価された事例の概要

ファイザー社ワクチン接種後に心膜炎と評価された事例のうち追加接種後の事例は、製造販売業者からの報告について、性・年齢別の分布は以下のとおりであった。

3回目接種後

年齢	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
男性100万回接種当たり	2.1	2.8	0	0	0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	
女性 例	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	3.4	0	0	0	0	0.5	0.5	0	0.5	0	0	0	0	

4回目接種後

年齢	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

小児用（5-11歳）ワクチン接種後における心膜炎と評価された報告の状況について

専門家により心膜炎と評価された事例の概要

小児用（5-11歳）ワクチン接種後に心膜炎と評価された事例は、製造販売業者からの報告について以下のとおりであった。

1回目接種後

年齢	5-11	不明/その他
男性 例	1	0
男性100万回接種当たり	1.2	
女性 例	0	0
女性100万回接種当たり	0	

2回目接種後

年齢	5-11	不明/その他
男性 例	0	0
男性100万回接種当たり	0	
女性 例	0	0
女性100万回接種当たり	0	

上記の100万回接種当たりの報告頻度については、小児用（5-11歳）ワクチン接種後の心筋炎と評価された事例の数を、VRSに小児用ワクチンを接種したとして入力されたもののうち、5-14歳の合計値より算出した推定接種回数で割ることで算出している。

武田/モデルナ社ワクチン接種後における心膜炎と評価された報告の状況について

専門家により心膜炎と評価された事例の概要

モデルナ社ワクチン接種後に心膜炎と評価された事例のうち追加接種後の事例は、製造販売業者からの報告について、性・年齢別の分布は以下のとおりであった。

3回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	4	1	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回 接種当たり	0	21.3	1.4	3.7	0	0	1.7	0	0.6	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回 接種当たり	0	0	0	0	1.3	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0

4回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回 接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回 接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

武田社ワクチン（ノババックス）接種後における心膜炎と評価された報告の状況について

専門家により心膜炎と評価された事例の概要

武田社ワクチン（ノババックス）接種後に心膜炎と評価された事例のうち追加接種後の事例は、製造販売業者からの報告について、性・年齢別の分布は以下のとおりであった。

1回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3回目接種後

年齢	12-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	不明/その他
男性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性100万回接種当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対する住民からの相談に対応できる窓口の運用状況等について

各都道府県における、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対する診療体制の整備状況等の確認についての回答状況及び新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対する住民からの相談に対応できる窓口の運用状況は、以下のとおりであった。

表1：各都道府県からの回答状況

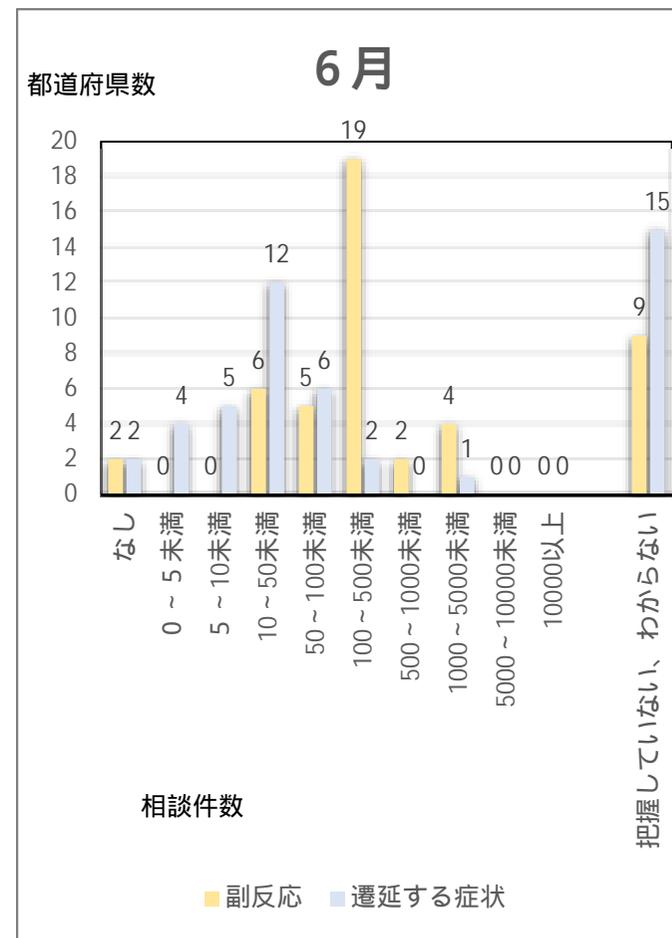
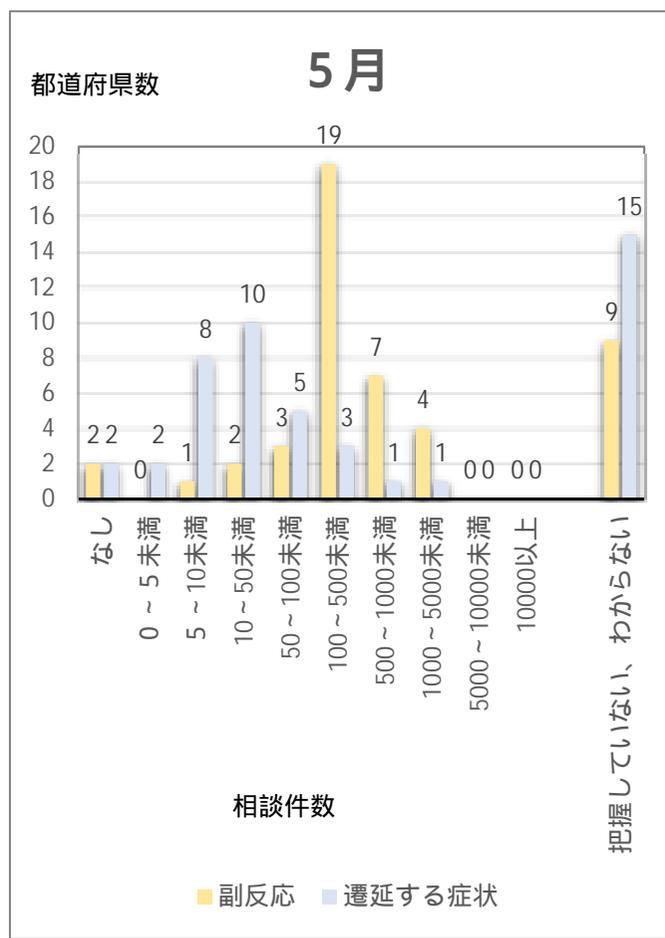
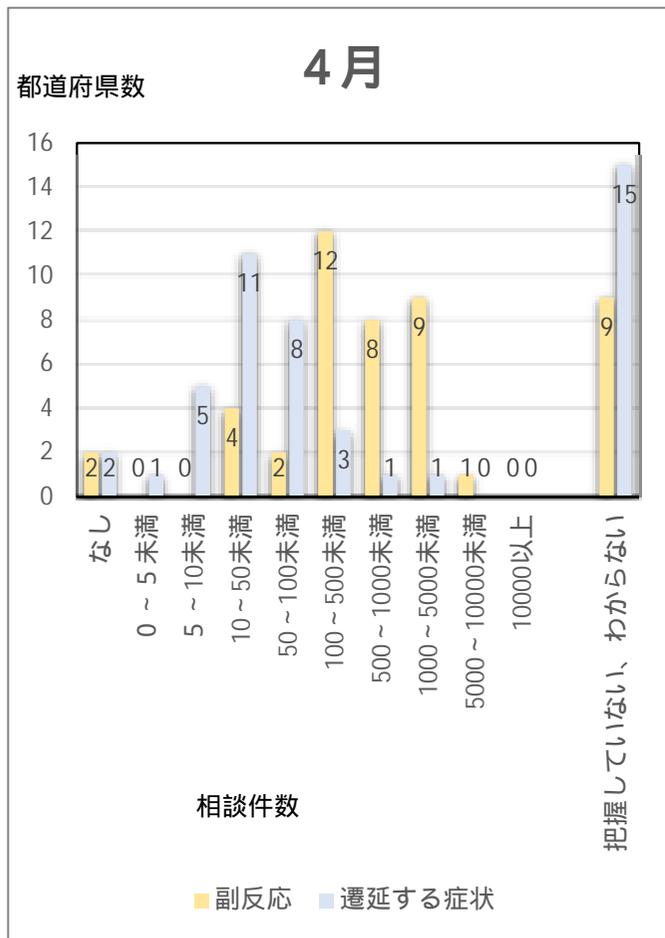
回答の有無	都道府県数	%
あり	47	100%
なし	0	0%

表2：各都道府県における、住民からの相談に対応できる窓口の運用状況

営業時間	都道府県数	%
毎日（24時間・365日）	23	49%
毎日（営業時間あり）	20	43%
毎日（営業時間あり/時間外は音声案内）	1	2%
毎日（一般は営業時間あり、小児は24時間）	1	2%
平日のみ（営業時間あり）	2	4%

住民からの相談に対応できる窓口における相談件数の状況について

各都道府県の住民からの相談に対応できる窓口における、遷延する症状及び遷延する症状以外も含めた副反応に関する相談件数の状況は以下のとおりであった。



本頁における遷延する症状及び遷延する症状以外も含めた副反応に関する相談件数は、副反応を生じてはいないものの、副反応に関する問い合わせをした相談者が含まれること、同一の相談者から複数回の相談が行われうること等が想定されることから、副反応の発生件数を表しているものではないことに留意を要する。

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対応できる専門的な医療機関の確保及び公表の状況等について

各都道府県における、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対応できる専門的な医療機関の確保及び公表の状況等は、以下のとおりであった。

表3：各都道府県における、専門的な医療機関の確保状況について

確保状況	都道府県数	%
なし	0	0%
1～4	18	38%
5～9	9	19%
10～	20	43%

表4：各都道府県における、専門的な医療機関の公表状況について

公表状況	都道府県数	%
すべての医療機関について、名称等を公表	11	23%
同意が得られた医療機関のみ、名称等を公表	6	13%
公表していない	30	64%

被接種者が受診を希望する際の専門的な医療機関への円滑な受診のための都道府県の工夫等について

被接種者が受診を希望する際に、専門的な医療機関を円滑に受診できるよう、都道府県の工夫として行っているその他の具体的な取組については以下のような回答例があった。

指定している専門的医療機関とは別に、ワクチン接種後の副反応を疑う症状に対する医療機関を調査し、「対応可能」と回答のあった診療所も公表している。

新型コロナワクチン専門相談窓口において、そのような事例の相談があった場合には、専門的な医療機関との調整を行った上で、相談者に専門的な医療機関を案内する対応を行っている。

県に設置している副反応コールセンターに相談があった場合には、常に緊急度をトリアージして、適切な医療につなげることを基本としているほか、相談者の訴えをよく傾聴し、適切な診療科を案内するようにしている。

受診体制について医師会と情報共有している。

従来の「接種医・かかりつけ医－（紹介状）→地域の総合病院－（紹介状）→高度な対応可能な病院」という紹介診療（受診）の手続きを基本とし、身近な医療機関において対応が困難な場合や総合的な診療が必要と判断された場合等で接種医、かかりつけ医が県（薬務対策課）に相談があったときは「地域の基幹病院」に受診調整を行う。

受診を希望される方が通院できるよう、二次保健医療圏に1カ所ずつ専門的医療機関を設置した。

その他、新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に対する診療体制の整備や、相談者への対応にあたって工夫している取組については以下のような回答例があった。

令和3年度に新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に対する診療体制の整備のため、副反応に関する事例等を収集・検討し、県内医療機関等に広く情報提供するアドバイザリーボードを設置した。

「副反応よくある質問と対応」を毎月県HPにアップデートして掲載することにより、一定の相談に対応できるようにしている。

多言語対応できるように、18言語に翻訳された相談窓口の案内を県HPに掲載している。

各都道府県における、新型コロナウイルスワクチン接種後に遷延する症状を訴える方に対応できる専門的な医療機関の確保及び公表の状況等は、以下のとおりであった。

表5：各都道府県における、遷延する症状に対応可能であることが確認された専門的な医療機関の確保状況について

確保状況	都道府県数	%
なし	0	0%
1～4	18	38%
5～9	9	19%
10～	20	43%

表6：各都道府県における、遷延する症状に対応可能な専門的な医療機関の公表状況について

公表状況	都道府県数	%
すべての医療機関について、名称等を公表	11	23%
同意が得られた医療機関のみ、名称等を公表	6	13%
公表していない	30	64%

各都道府県において確保された新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対応できる専門的な医療機関のうち、すべての医療機関において遷延する症状に対応可能であることが確認されたわけではないものの、ほとんどの医療機関について、遷延する症状に対応可能であることが確認されていることから、結果として表3、4と同様の結果となっている。